
令和6年度

地方公共団体金融機構決算の概要
(9月期)

地方公共団体金融機構

令和6年度中間決算のポイント

利益の状況

- ◇ 経常利益は334億円で、前中間期に比べ、46億円の減少
中間純利益は97億円で、前中間期に比べ、3億円の減少

資産等の状況

- ◇ 資産総額は貸付金等24兆696億円で、前年度末に比べ、945億円の減少
負債総額は債券等23兆6,318億円で、前年度末に比べ、1,063億円の減少
純資産総額は利益剰余金等4,377億円で、前年度末に比べ、118億円の増加

財務基盤の状況

- ◇ 地方公共団体健全化基金は9,264億円で、前年度末と同額
金利変動準備金は2兆2,000億円で、前年度末と同額
公庫債権金利変動準備金は7,034億円で、前年度末に比べ、51億円の減少

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期の**経常利益は334億円**で、前中間期に比べ、46億円の減少(▲12.3%)。貸付金利息が減少したことに加えて、債券利息が増加したこと等が要因
- ◇ **中間純利益は97億円**で、前中間期に比べ、3億円の減少(▲3.4%)。一般勘定の中間純利益が減少したことが要因

科 目	R6中間決算(A)	R5中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	945億円	969億円	▲24億円
貸 付 金 利 息	936億円	963億円	▲27億円
貸 余 資 金 運 用 益	4億円	0億円	4億円
そ の 他	4億円	6億円	▲1億円
経 常 費 用	611億円	588億円	22億円
債 券 利 息	560億円	546億円	14億円
借 入 金 利 息	4億円	3億円	0億円
そ の 他	45億円	38億円	7億円
経 常 利 益	334億円	381億円	▲46億円
特 別 利 益	311億円	263億円	47億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	300億円	250億円	50億円
利差補てん積立金取崩額	11億円	13億円	▲2億円
特 別 損 失	548億円	543億円	4億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	248億円	293億円	▲45億円
国 庫 納 付 金	300億円	250億円	50億円
中 間 純 利 益	97億円	100億円	▲3億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

◇ 当中間期の経常利益及び中間純利益は97億円で、前中間期に比べ、3億円の減少(▲3.4%)。債券利息の増加額が貸付金利息の増加額を上回ったこと等が要因

科 目	R6中間決算(A)	R5中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	624億円	575億円	49億円
貸 付 金 利 息	613億円	567億円	46億円
余 資 運 用 益	4億円	0億円	4億円
金 利 スワ ッ プ 受 入 利 息	4億円	4億円	▲0億円
そ の 他	2億円	3億円	▲0億円
経 常 費 用	527億円	474億円	52億円
債 券 利 息	462億円	413億円	49億円
借 入 金 利 息	4億円	3億円	0億円
そ の 他 業 務 費 用	19億円	17億円	1億円
営 業 経 費	21億円	18億円	2億円
基 金 管 理 勘 定 繰 出 金	17億円	19億円	▲2億円
そ の 他	2億円	1億円	0億円
経 常 利 益	97億円	100億円	▲3億円
特 別 利 益	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—
中 間 純 利 益	97億円	100億円	▲3億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 当中間期の**経常利益は237億円**で、前中間期に比べ、43億円の減少(▲15.5%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を上回ったこと等が要因
- ◇ 地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、当中間期の純利益はゼロ

科 目	R6中間決算(A)	R5中間決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	340億円	415億円	▲75億円
貸 付 金 利 息	322億円	395億円	▲73億円
基 金 一 般 勘 定 繰 入 金	17億円	19億円	▲2億円
そ の 他	0億円	0億円	0億円
経 常 費 用	102億円	134億円	▲31億円
債 券 利 息	98億円	132億円	▲34億円
そ の 他	4億円	1億円	2億円
経 常 利 益	237億円	280億円	▲43億円
特 別 利 益	311億円	263億円	47億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	300億円	250億円	50億円
利差補てん積立金取崩額	11億円	13億円	▲2億円
特 別 損 失	548億円	543億円	4億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	248億円	293億円	▲45億円
国 庫 納 付 金	300億円	250億円	50億円
中 間 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

◇ 当中間期末現在の**資産総額は24兆696億円**で、前年度末に比べ、945億円の減少(▲0.4%)。有価証券及び現金預け金の合計が1,083億円増加した一方で、貸付金が減少したこと等が要因

科 目	令和6年度中間期末現在(A) (R6.9.30)	令和5年度末現在(B) (R6.3.31)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	22兆8,689億円	23兆740億円	▲2,050億円
有 価 証 券	4,290億円	2,045億円	2,245億円
現 金 預 け 金	7,574億円	8,736億円	▲1,161億円
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	2億円	—	皆増
そ の 他 資 産	73億円	55億円	17億円
有 形 固 定 資 産	29億円	29億円	▲0億円
無 形 固 定 資 産	36億円	34億円	1億円
前 払 年 金 費 用	0億円	—	皆増
合 計	24兆696億円	24兆1,641億円	▲945億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 当中間期末現在の一般勘定における**資産総額は20兆9,422億円**で、前年度末に比べ、2,147億円の増加(+1.0%)
- ◇ 当中間期末現在の管理勘定における**資産総額は3兆5,553億円**で、前年度末に比べ、3,174億円の減少(▲8.2%)

	科 目	令和6年度中間期末現在(A) (R6.9.30)	令和5年度末現在(B) (R6.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	19兆7,432億円	19兆6,393億円	1,038億円
	有 価 証 券	4,290億円	2,045億円	2,245億円
	現 金 預 け 金	7,574億円	8,736億円	▲1,161億円
	金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	2億円	—	皆 増
	そ の 他 資 産	56億円	35億円	21億円
	有 形 固 定 資 産	29億円	29億円	▲0億円
	無 形 固 定 資 産	36億円	34億円	1億円
	前 払 年 金 費 用	0億円	—	皆 増
	合 計	20兆9,422億円	20兆7,275億円	2,147億円
管 理 勘 定	貸 付 金	3兆1,256億円	3兆4,346億円	▲3,089億円
	そ の 他 資 産	16億円	19億円	▲3億円
	一 般 勘 定 貸	4,279億円	4,361億円	▲81億円
	合 計	3兆5,553億円	3兆8,727億円	▲3,174億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 当中間期末現在の負債総額は23兆6,318億円で、前年度末に比べ、1,063億円の減少(▲0.5%)。金融商品等受入担保金が815億円減少したこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、300億円の国庫納付を行った一方で、借換益等248億円を繰り入れた結果、前年度末に比べ、51億円の減少

科 目	令和6年度中間期末現在(A) (R6.9.30)	令和5年度末現在(B) (R6.3.31)	増 減((A)-(B))
債 券	18兆9,315億円	18兆9,493億円	▲178億円
借 入 金	5,303億円	5,303億円	—
金融商品等受入担保金	3,315億円	4,130億円	▲815億円
地方公共団体健全化基金	9,264億円	9,264億円	—
金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
公庫債権金利変動準備金	7,034億円	7,086億円	▲51億円
利差補てん積立金	23億円	34億円	▲11億円
そ の 他	61億円	69億円	▲7億円
合 計	23兆6,318億円	23兆7,382億円	▲1,063億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 当中間期末現在の一般勘定における負債総額は20兆5,623億円で、前年度末に比べ、2,029億円の増加(+1.0%)
- ◇ 当中間期末現在の管理勘定における負債総額は3兆4,975億円で、前年度末に比べ、3,174億円の減少(▲8.3%)

	科 目	令和6年度中間期末現在(A) (R6.9.30)	令和5年度末現在(B) (R6.3.31)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	16兆1,423億円	15兆8,490億円	2,933億円
	借 入 金	5,303億円	5,303億円	—
	金融商品等受入担保金	3,315億円	4,130億円	▲815億円
	地方公共団体健全化基金	9,264億円	9,264億円	—
	金利変動準備金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
	管理勘定の借	4,279億円	4,361億円	▲81億円
	その他の	36億円	44億円	▲7億円
	合 計	20兆5,623億円	20兆3,594億円	2,029億円
管 理 勘 定	債 券	2兆7,891億円	3兆1,003億円	▲3,111億円
	公庫債権金利変動準備金	7,034億円	7,086億円	▲51億円
	利差補てん積立金	23億円	34億円	▲11億円
	その他の負債	25億円	25億円	0億円
	合 計	3兆4,975億円	3兆8,149億円	▲3,174億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 当中間期末現在の純資産総額は4,377億円で、前年度末に比べ、118億円の増加(+2.8%)
- ◇ 金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末から21億円増加したことに加えて、一般勘定の間純利益97億円を一般勘定中間未処分利益として計上したことが要因

科 目	令和6年度中間期末現在(A) (R6.9.30)	令和5年度末現在(B) (R6.3.31)	増 減((A)-(B))
地方公共団体出資金	166億円	166億円	—
一般勘定積立金	3,704億円	3,704億円	—
一般勘定中間未処分利益	97億円	—	皆増
管理勘定利益積立金	578億円	578億円	—
繰延ヘッジ損益	▲167億円	▲189億円	21億円
			うち金利スワップ期中解約分 4億円 うち既存スワップの時価分 12億円 うち繰延ヘッジの償却分 4億円
合 計	4,377億円	4,258億円	118億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考)

(単位: 億円)

令和6年度9月期決算における主要勘定の状況

【貸付金】

前期末残高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	中間期末残高 ①+②-③
230,740	6,769	8,820	228,689

【債券】

前期末残高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	中間期末残高 ①+②-③
189,493	10,629	10,808	189,315

【地方公共団体健全化基金】

前期末残高 ①	納付金 ②	基金組入額(+) 基金取崩額(▲) ③	中間期末残高 ①+②+③
9,264	—	—	9,264

利下げ所要額 ①	基金運用益 ②	②-①
121	33	▲88

(注) 利下げ所要額に基金運用益を充当した残余である。

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	取崩額 ②	繰入額 ③	中間期末残高 ①+②+③
金利変動準備金	22,000	—	— (注)	22,000
公庫債権金利変動準備金	7,086	▲300	248	7,034

【利差補てん積立金】

前期末残高 ①	取崩額 ②	中間期末残高 ①-②
34	11	23

(注) 関係法令の規定に基づき算出した金利変動準備金の積立限度額(当該期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の100)を前期末残高が超えているため、繰入れを行っていない。

※ 単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。